

第二百二十二号議案

特別区の消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

令和八年二月十八日

提出者 東京都知事 小 池 百 合 子

特別区の消防団員等の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例

特別区の消防団員等の公務災害補償に関する条例（昭和四十一年東京都条例第八十四号）の一部を次のように改正する。  
 第五条第二項第二号中「九千七百円」を「一万円」に改め、同号ただし書中「一万四千五百円」を「一万五千元」に改め、同条第三項中「百元」を「四百三十三円」に改め、「、第二号に該当する扶養親族については一人につき三百八十三円を」を削り、「第三号から第六号まで」を「第二号から第五号まで」に改め、同項中第一号を削り、第二号を第一号とし、第三号から第六号までを一号ずつ繰り上げる。

別表中「一二、九〇〇円」を「一三、三四〇円」に、「一三、七〇〇円」を「一四、一七〇円」に、「一四、五〇〇円」を「一五、〇〇〇円」に、「一一、三〇〇円」を「一一、六七〇円」に、「一二、一〇〇円」を「一二、五〇〇円」に、「九、七〇〇円」を「一〇、〇〇〇円」に、「一〇、五〇〇円」を「一〇、八四〇円」に改める。

附 則

1 この条例は、令和八年四月一日から施行する。

2 この条例による改正後の特別区の消防団員等の公務災害補償に関する条例第五条第二項第二号及び第三項並びに別表の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に支給すべき事由が生じた公務災害補償（傷病補償年金、障害補償年金及び遺族補償年金を除く。以下この項において同じ。）並びに令和八年四月分以後の月分の傷病補償年金、障害補償年金及び遺族補償年金について適用し、施行日前に支給すべき事由が生じた公務災害補償並びに同年三月分以前の月分の

傷病補償年金、障害補償年金及び遺族補償年金については、なお従前の例による。

（提案理由）

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令（令和八年政令第十号）の施行に伴い、補償基礎額を改定するほか、規定を整備する必要がある。